

連携事業の内容

竹混入ファイバーの農村景観への影響の検証と園芸材や園芸療法への活用可能性を研究・試行

手が汚れないなど扱いやすいため、園芸療法ガーデンや花苗ポットの土の代わりとしての利用が期待される



期待される効果

(1) 一定量の竹を材料として安定的に伐採・供給することで放置竹林の拡大を防止



(2) 棚田や農地、道路植栽帯の環境を良好に維持することで美しい棚田景観の保全と安全安心な社会基盤の維持・形成に貢献



(3) 人口減少や高齢化の進展で、地域の担い手が不足する中、草刈り等の維持管理作業を省力化することで持続可能な地域づくりに貢献



(4) 園芸療法とのタイアップや園芸材としての利用提案による新たな生活様式を提案



写真
：竹伐採の様子

(動画配信)